



口腔ケア・アセスメント 解析データベース 使用マニュアル

口腔ケア・アセスメント結果を
入力、管理、分析するソフト！

宮城県リハビリテーション支援センター



「口腔ケア・アセスメント解析データベース」

平成23年度に作成した、「口腔ケア・アセスメント票」の結果を効率的に管理、分析できるソフトです。平成24年度、仙台保健福祉事務所が介護老人保健施設ももせ塩竈において実施した、口腔ケアの取組強化を目的としたモデル事業において、仙台保健福祉事務所と共同で開発しました。

主な特徴としては、手書きで実施した個別アセスメント票を容易に記録でき、データ管理することができます。また、個別の分析結果票が自動で作成されることや、アセスメント対象者全体の傾向を分析することもできます。

◆「解析データベース」の使用条件

平成23年度に当センターで作成した「口腔ケア・アセスメント票」をすでに使用し、その結果を管理・分析したいという目的であることが使用条件です。

◆「解析データベース」でできること

① アセスメント入力

入力フォームにアセスメント結果を入力し、登録することで、データ化され、情報管理が可能になります。

② 個別結果票の出力

1人ずつのデータ解析した分析結果票を印刷できます。(①でアセスメント結果を入力、登録することで、個別の分析結果が自動で作成されます。)

③ 登録者全体の集計と分析

Excelのフィルタ機能を使うことで、アセスメント結果を項目別、個人別にリストアップできるほか、登録者全体の傾向と対策が分かります。

◆「解析データベース」活用による効果

① 個別の情報が集約・管理されることで、職員間で内容を随時確認し、共有できるようになります。

② 個別の分析結果票から、口腔ケアリスク対象者を容易に判断できるようになります。また、支援方針、必要事項に則り、職員間で対応について、相談・検討できるようになります。

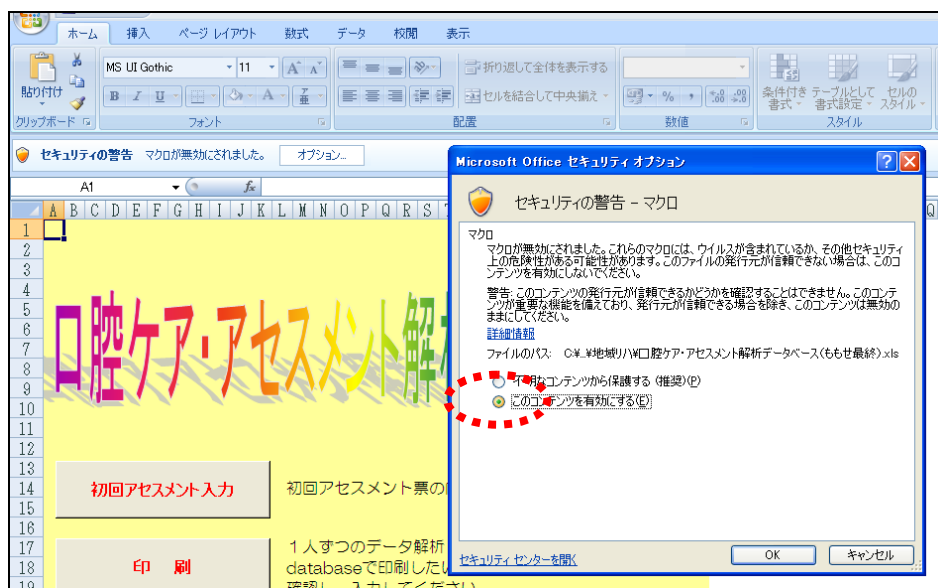
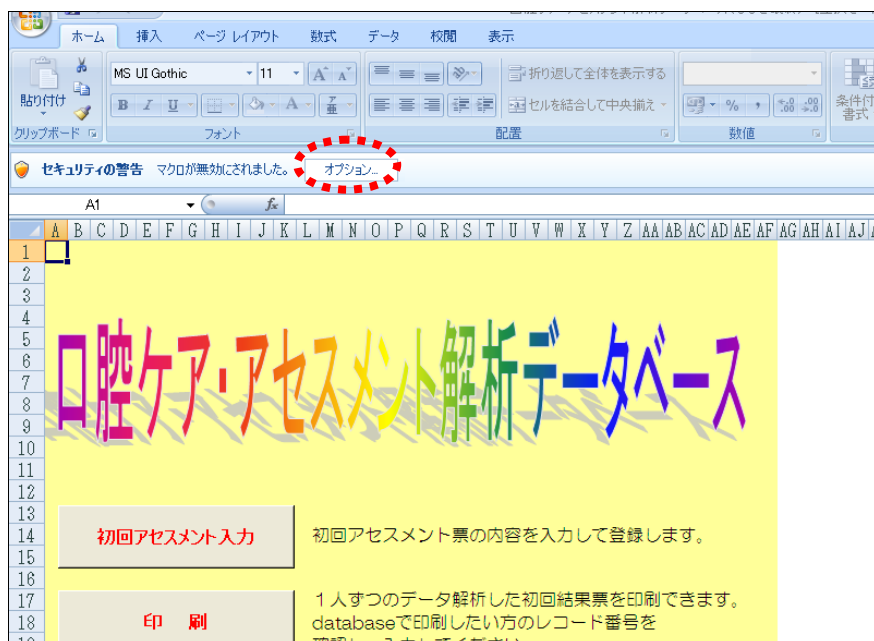
③ 歯科治療が必要な方を容易に抽出することができ、歯科医療機関との連携強化を図ることができます。

「口腔ケア・アセスメント解析データベース」の使い方

1. 事前準備
2. 入力する場合
3. 入力内容を修正する場合
4. 個別の分析結果票を確認する場合
5. 個別の分析結果票の見方
6. 印刷する場合
7. 全体の集計や分析をする場合

1. 事前準備

Excelソフトを起動させ、**オプション**→「このコンテンツを有効にする」を選択します（この作業をすることで、ボタン操作が自動化します）。



2. 入力する場合

初回アセスメント入力ボタンを選択すると、手書きで実施した個別アセスメント票とほぼ同じ内容の、「入力フォーム」が自動で開くので、アセスメント結果を入力することができます。入力後は、「登録する」ボタンを選択することで、自動でデータベース化されます。続けて複数人を入力する場合は、この作業を繰り返します。入力終了後は、登録はされても、保存はされないのので、必ず「保存」または「上書き保存」をして下さい。

<注意>

- ※1 実施年月日は半角入力します。(例 2012/10/25)
- ※2 リスクは自動で判定されないのので、アセスメント票の項目「評価」より判定し、必ず入力して下さい。
- ※3 口腔機能評価と口腔内状況については、すべての入力項目が選択式であり、未入力があると、分析が不可能となり、個別的分析結果票に結果が反映されませんので、必ず入力してください。
- ※4 選択肢の横にある数字は、点数化し集計できるように、便宜上、手書きの「口腔ケア・アセスメント票」から変更しているものであり、間違いではありません。
- ※5 「プラークの付着」「菌式」の手書き部分については、「入力フォーム」には、反映させておりません。

3. 入力内容を修正する場合

すでに入力した内容に変更等があった場合、ワークシート<database>から直接修正入力ができます。その場合は、数値と文字列の両方が入るセル（例 **0 ない**）を修正する場合に限り、他のセルより、「コピー」→「貼り付け」することをお勧めします（誤入力为了避免のため）。なお、入力シートからの修正はできません。ご注意ください。

4. 個別の分析結果票を確認する場合

次の手順で行うことで、見たい方の内容に自動的に切り替わり閲覧が可能です。

- ①ワークシート<database>を開き、確認したい方の左端の番号（A列）を確認します。
- ②ワークシート<アセスメント票>を開き、左上にある**レコードNo. (C2)**に①で確認した番号を入力します。

The top screenshot displays a table with the following columns: A (ID), B (Name), C (Date), D (Risk), E (Recorder), F (Food/Eating residue), G (Food/Eating residue residue), H (Chest exam), I (Oral reflex), J (Cough reflex), K (Gag reflex), L (Cough reflex), M (Cough reflex), N (Cough reflex), O (Cough reflex). Row 91 is highlighted with a red dashed box and labeled with a circled '1'.

The bottom screenshot shows the '口腔ケアアセスメント票' (Oral Care Assessment Form) with the following fields: ② レコードNo. (91), 実施年月日: 平成24年8月8日, 対象者(氏名): 宮城太郎, リスク: 高リスク, 記入者名: 塩電花子. The form includes sections for '口腔機能評価' (Oral Function Evaluation) and '口腔内状況' (Oral Status) with various sub-items and scores.

5. 個別の分析結果票の見方（特徴）

- ①手書きのアセスメント票と違い、選択項目のみ表示されるようになっていきます。
- ②リスクに連動する「塗りつぶし」を書式設定しており、項目別のリスクの違いが分かります。（低リスク：塗りつぶし無し，中リスク：灰色，高リスク：右下がり斜線）
- ③口腔機能評価（0点～9点）と口腔内状況（0点～14点）には合計点数制を導入しており、それぞれ最大値に近いほど、「より高リスク」と判断できます。（ケアカンファレンス等の、優先順位を決める際などに参考にして下さい。）
- ④「早急な検討が必要な事項」には、関連の深いと思われる項目が該当した場合に、リスクとして表示されるようになっていきます。（多職種間での検討材料にして下さい。）
- ⑤「プラークの付着」「歯式」については、印刷後に手書きで記入することを前提としているため、常に白紙で表示されるようになっていきます。

口腔ケアアセスメント票

レコードNo. 91 実施年月日： 平成24年8月8日

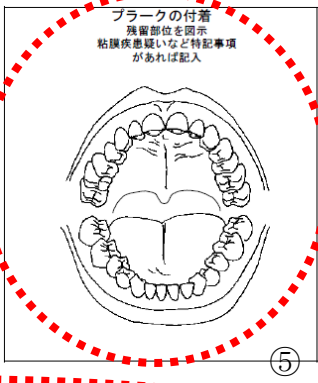
対象者（氏名）： 宮城太郎 リスク 高リスク

記入者名： 塩竈花子

口腔機能評価 5 (0点～9点)	口腔内状況 9 (0点～14点)
---	---

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">食事中や食後のむせ</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">1 あり</td> </tr> <tr> <td>食事中や食後の痰のからみ</td> <td style="text-align: center;">1 あり</td> </tr> <tr> <td>頭部聴診（3ccの水嚥下後、聴診） *水嚥下禁止の場合は呼吸音聴取</td> <td style="text-align: center;">1 残留音・複数回嚥下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原始反射</td> <td>口すぼめ反射</td> <td style="text-align: center;">0 ない</td> </tr> <tr> <td>吸嚥反射</td> <td style="text-align: center;">0 ない</td> </tr> <tr> <td>咬反射</td> <td style="text-align: center;">0 ない</td> </tr> </table>	食事中や食後のむせ	1 あり	食事中や食後の痰のからみ	1 あり	頭部聴診（3ccの水嚥下後、聴診） *水嚥下禁止の場合は呼吸音聴取	1 残留音・複数回嚥下	原始反射	口すぼめ反射	0 ない	吸嚥反射	0 ない	咬反射	0 ない	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4">口腔衛生状態</td> <td>プラークの付着状況</td> <td style="text-align: center;">1 中等度</td> </tr> <tr> <td>食渣の残留</td> <td style="text-align: center;">1 中等度</td> </tr> <tr> <td>舌苔</td> <td style="text-align: center;">1 薄い</td> </tr> <tr> <td>口腔乾燥</td> <td style="text-align: center;">1 わずか</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">口臭</td> <td>上顎</td> <td style="text-align: center;">1 強い</td> </tr> <tr> <td>下顎</td> <td style="text-align: center;">0 義歯なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">義歯の状況</td> <td>上顎</td> <td style="text-align: center;">0 義歯なし</td> </tr> <tr> <td>下顎</td> <td style="text-align: center;">0 義歯なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臼歯部での咬合</td> <td>義歯なしの状態</td> <td style="text-align: center;">1 あり</td> </tr> <tr> <td>義歯ありの状態</td> <td style="text-align: center;">1 あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歯科疾患</td> <td>重度歯周病</td> <td style="text-align: center;">1 あり</td> </tr> <tr> <td>重度う蝕</td> <td style="text-align: center;">1 あり</td> </tr> </table>	口腔衛生状態	プラークの付着状況	1 中等度	食渣の残留	1 中等度	舌苔	1 薄い	口腔乾燥	1 わずか	口臭	上顎	1 強い	下顎	0 義歯なし	義歯の状況	上顎	0 義歯なし	下顎	0 義歯なし	臼歯部での咬合	義歯なしの状態	1 あり	義歯ありの状態	1 あり	歯科疾患	重度歯周病	1 あり	重度う蝕	1 あり
食事中や食後のむせ	1 あり																																										
食事中や食後の痰のからみ	1 あり																																										
頭部聴診（3ccの水嚥下後、聴診） *水嚥下禁止の場合は呼吸音聴取	1 残留音・複数回嚥下																																										
原始反射	口すぼめ反射	0 ない																																									
	吸嚥反射	0 ない																																									
	咬反射	0 ない																																									
口腔衛生状態	プラークの付着状況	1 中等度																																									
	食渣の残留	1 中等度																																									
	舌苔	1 薄い																																									
	口腔乾燥	1 わずか																																									
口臭	上顎	1 強い																																									
	下顎	0 義歯なし																																									
義歯の状況	上顎	0 義歯なし																																									
	下顎	0 義歯なし																																									
臼歯部での咬合	義歯なしの状態	1 あり																																									
	義歯ありの状態	1 あり																																									
歯科疾患	重度歯周病	1 あり																																									
	重度う蝕	1 あり																																									

口腔ケアリスク		
口腔ケアの自立・口腔ケアに対する拒否	日常の口腔ケア	3 全介助
	口腔ケアの拒否	1 ない
	拒否の理由、症状	3 認知症
	その他	
	他のケアに対する拒否	
	拒否の内容	
口腔ケアに対するリスク	口腔ケアの自発性	1 ない
	義歯の着脱	3 使用していない
	経管栄養チューブ	1 ない
	その他	
	座位保持	2 困難
	頭部可動性	2 不十分
	開口保持	2 困難
	口腔内での水分保持	2 困難
	嚥嚥（ブクブクがよい）	3 不可能（むせ）
	感染症	1 なし
その他特記事項		



⑤

歯式	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

×：欠損歯 △：残根歯

支援方針 (1) アセスメント票「口腔機能評価」に高リスクがある場合は、必ず、口腔機能の掘下げ検査を実施する。また、口腔ケア実施にあたっては、誤嚥や窒息を防ぐ方法で、十分注意する。特に「ぶくぶくがよいや口腔内での水分保持が困難な場合には、口腔ケア自体が誤嚥性肺炎等の直接的な原因となりうるので注意する。 (2) アセスメント票「口腔内状況」に高リスクがある場合は、速やかに協力歯科医、又はかかりつけ歯科医の受診を支援し、専門的口腔ケアおよび治療に繋げる。また、歯科医の指示のもと、ケア方法を決定、「口腔ケアリスク」の内容を見直し、継続的にケアを実施する。併せて、口腔機能向上を図る支援を検討する。	早急な対応の検討が必要な事項	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 80%; margin: 0 auto;"> 窒息 歯科治療 誤嚥 </div> <p>④</p>
---	-----------------------	--

6. 印刷する場合

次の2通りの方法で印刷することが可能です。

①個別の分析結果票を確認しながら印刷する場合

ワークシート<アセスメント票>で、印刷したい方の結果票を閲覧している状態から、通常どおりの印刷操作をします。

②トップページの印刷ボタンから印刷する場合

印刷ボタンを選択すると、「印刷したい方の番号を入力して下さい」というメッセージボックスが開きますので、指示どおり進むことで、印刷ができます。番号は、これまで同様に、ワークシート<database>を開き、印刷したい方の左端の番号（A列）を確認します。

①

The screenshot shows the Microsoft Excel interface. The 'Print' menu is open, displaying options: '印刷 (P)' (Print), 'クイック印刷 (Q)' (Quick Print), and '印刷プレビュー (V)' (Print Preview). The background shows a worksheet titled 'アセスメント票' (Assessment Form) with fields for '実施年月日' (Implementation Date: 平成24年8月8日), 'リスク' (Risk: 高リスク), and '記入者名' (Recorder: 塩電花子). A table titled '口腔内状況' (Oral Status) is visible, with columns for '状況' (Status) and '9 (0点~14点)' (Score). The table includes items like 'ブラークの付着状況' (Plaque status), '食渣の残留' (Food residue), '舌苔' (Tongue coating), '口腔乾燥' (Oral dryness), '口臭' (Bad breath), '上顎' (Upper jaw), '下顎' (Lower jaw), '臼歯部での咬合' (Occlusion in molar area), and '歯科疾患' (Dental diseases).

②

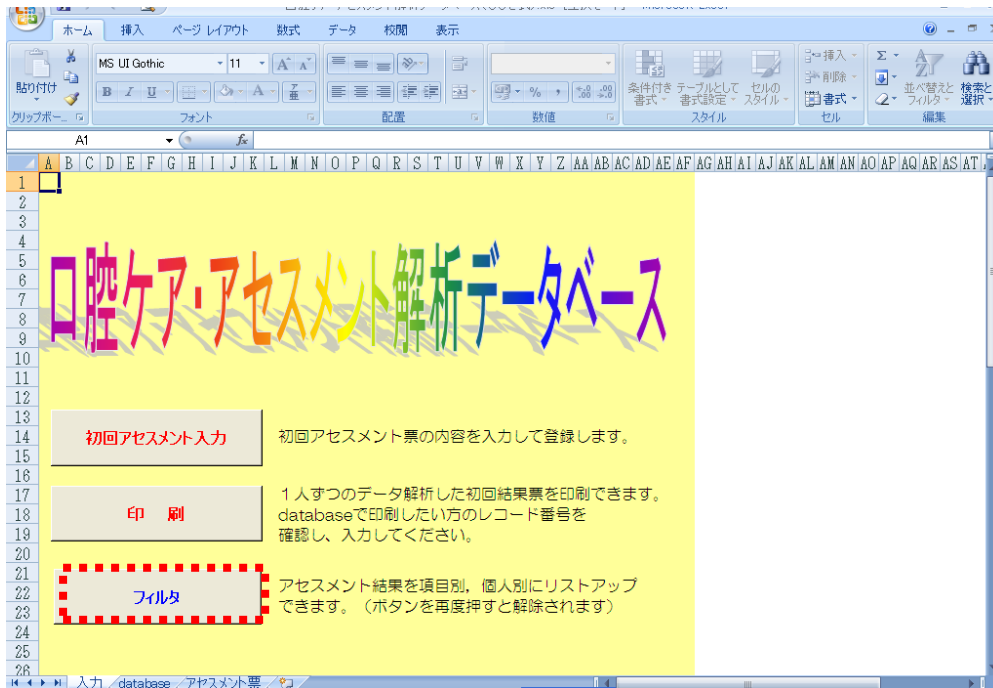
The screenshot shows the top page of the Excel application. The '印刷' (Print) button is highlighted with a red dashed box. A dialog box titled 'Microsoft Excel' is open, asking for the record number to print. The input field contains '91'. Another dialog box titled 'Microsoft Excel' is open, displaying the message '宮城太郎 様のアセスメント票を印刷します。' (Print assessment form for Miyagi Taro) with 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. Below the dialog boxes, a yellow box contains instructions for the '印刷' (Print) button: '1人ずつのデータ解析した初回結果票を印刷できます。databaseで印刷したい方のレコード番号を確認し、入力してください。' (You can print the first assessment form for each data analysis. Please check and enter the record number of the person you want to print in the database.)

7. 全体の集計や分析をする場合

トップページの「フィルタ」ボタンを選択すると、オートフィルタ設定が機能し、集計やデータ抽出が可能となります。それにより、登録者の傾向と対策など、分析が可能となります。

<注意>

※1 解除する場合は、「TOPに戻る」ボタンでトップページに戻り、「フィルタ」ボタンを、もう一度選択すると、オートフィルタ設定が解除されます。この操作を繰り返すことで、分析作業を繰り返しできるようになっています。



	A	B	C	D	E	F	H	J	L	N	P	R
	再登録	対象者(氏名)	実施年月日	リスク	記入者名	食事中や食後の の痰のみせ	食事中や食後の の痰のからみ	頸部聴診	口すぼめ反射	吸嚔 反射	咽反射	ブラーク(垢)の付 状況
1												
2	1	A	昇順(S)			2 あり	2 あり	2 赤い痰音あり(赤濁下なし)	1 あり	0 ない	0 ない	1 中等
3	2	B	降順(Q)			1 あまりない	1 あまりない		0 ない	0 ない	0 ない	1 中等
4	3	C	色で並べ替え(T)			2 あり	2 あり	2 もせ・呼吸切迫あり	1 あり	1 あり	1 あり	1 中等
5	4	D	「リスク」からフィルタをクリア(Q)			1 あまりない	0 ない		0 ない	1 あり	1 あり	1 中等
6	5	E	色フィルタ(F)			0 ない	0 ない		1 あり	1 あり	0 ない	0 殆どな
7	6	F	テキストフィルタ(E)			0 ない	0 ない	0 清聴	0 ない	0 ない	0 ない	0 殆どな
8	7	G				0 ない	0 ない	0 清聴	0 ない	0 ない	0 ない	1 中等
9	8	H				1 あまりない	1 あまりない	0 清聴	0 ない	1 あり	1 あり	1 中等
10	9	I				0 ない	0 ない	0 清聴	0 ない	0 ない	0 ない	1 中等
11	10	J				2 あり	1 あまりない		1 あり	1 あり	1 あり	
12	11	K				0 ない	0 ない		1 あり		1 あり	
13	12	L				1 あまりない	0 ない		0 ない	0 ない	0 ない	
14	13	M				0 ない	0 ない					0 殆どな
15	14	N				0 ない	0 ない	0 清聴				0 殆どな
16	15	O				0 ない	0 ない	0 清聴	0 ない	0 ない	0 ない	1 中等
17	16	P				1 あまりない	0 ない	0 清聴	0 ない	0 ない	0 ない	0 殆どな
18	17	Q				0 ない	0 ない	0 清聴	0 ない	0 ない	0 ない	1 中等
19	18	R		2012/6/18	高リスク	0 ない	0 ない	0 清聴	0 ない	0 ない	0 ない	0 殆どな
20	19	S		2012/6/19	高リスク	0 ない	0 ない	1 残響音・縦振回音下	0 ない	0 ない	0 ない	2 著しい
21	20	T		2012/6/18	中リスク	1 あまりない	1 あまりない	0 清聴	0 ない	0 ない	0 ない	0 殆どな
22	21	U		2012/6/18	高リスク	1 あまりない	0 ない		0 ない	0 ない	0 ない	0 殆どな

「解析データベース」に関する Q&A

Q1. 個別の分析結果票の「口腔機能評価」や「口腔内状況」の点数が「#VALUE!」と表示されてしまう。

A1. 入力した項目のどこかで空欄になっている所はありませんか？項目の全てを入力していないと、合計点数が出せないため、「#VALUE!」と表示されません。

Q2. “原始反射”の見方がよく分からないため、“原始反射”を抜かした項目で評価したい。

A2. “原始反射”の項目を抜かして評価を行う場合は、必ず、入力フォームで「0 ない」を入力して下さい（“原始反射”が出現していないという前提で評価を行って下さい）。A1. で説明したように、1つでも空欄があると合計点数が出せません。

Q3. 個別の分析結果票の【早急な対応が必要な事項】の「歯科治療」「窒息」「誤嚥」はどのような場合出る設定になっているのか？

A3. 「歯科治療」は、“重度歯周病”，“重度う蝕”のどちらかで「1 あり」になった場合。「窒息」は，“臼歯部での咬合（義歯なしの状態，義歯ありの状態）”が「2 なし」または，“拒否の理由，症状”が「3 認知症」である場合。「誤嚥」は，“食事中や食後のむせ”が「1 あり」または，“食事中や食後の痰のからみ”が「1 あり」または，“頸部聴診”が「0 清聴」以外，または，“含嗽（ブクブクうがい）”が「3 不可能（むせ）」または，“口腔内での水分保持”が「3 不可能（むせ）」の場合です。

Q4. オートフィルタ設定を使うと例えばどんなことができるか？また，その簡単な手順を教えて欲しい。

A4. 例えば，登録者全体のうち，早急に歯科治療へつなげるべき方のピックアップができます。手順は，①「解析データベースの使い方」の「7. 全体の集計や分析をする場合」を参考に，オートフィルタ設定を機能させ，②ワークシート<database>を開き，③「リスク2（BJ1）」のセルの右側に出ている▼マークをクリックします。④すると，下に小さいメニューが表示されます。そこから「歯科治療」だけにチェックを入れ **OK** ボタンをクリックすると，早急に歯科治療が必要な方のピックアップができます。